

No.2023-15

発行:2023年3月2日

サステナブル原材料比率 38%の DUNLOP レースタイヤを開発

住友ゴム工業(株)(社長:山本悟)は、DUNLOP(ダンロップ)ブランドでバイオマスとリサイクル原材料を使用したサステナブル原材料比率 38%のレースタイヤを開発しました。開発したタイヤは天然ゴムや天然由来の原材料の活用、またリサイクル鉄から再生した材料を使用することで従来のレースタイヤからサステナブル原材料の比率を高めたレースタイヤです。

3月4日から5日に鈴鹿サーキットで開催される『2023 鈴鹿サーキットモータースポーツファン感謝デー』にて、「Modulo Nakajima Racing」の「Honda NSX-GT」に同タイヤを装着し、デモンストレーションレースを行います。^{※1} 今後さらなる改良やチューニングによって完成度を高め、2024 年内に一部のレースへの投入を目指します。



「Modulo Nakajima Racing」の「Honda NSX-GT」に装着した サステナブル原材料比率を高めたレースタイヤ
タイヤサイド部のロゴステッカーデザイン

サステナブル原材料比率を高めたレースタイヤのサイド部のロゴステッカーデザインは、DUNLOP ブランドロゴの左端に描かれたシンボルマーク^{※2}から放たれた矢が変化し、SDGs の 17 の目標を意味する 17 マスのグリーンのチェッカーフラッグにたどり着くという想いを込めています。

DUNLOP は、モータースポーツの裾野を広げるべく、四輪・二輪の国内外のモータースポーツレースにおいて、トップクラスから入門クラスまでの幅広いカテゴリーでタイヤ供給を行っています。今後は 2024 年までにサステナブル原材料比率を高めたレースタイヤを一部のレースへ投入することを目標に開発を進めることで、サステナブルなモータースポーツの実現に貢献していきます。

当社では、サステナビリティ長期方針「はずむ未来チャレンジ 2050」^{※3}において、サプライチェーン全体を通じた CO2 の削減を目指し、2030 年に製造するタイヤのサステナブル原材料比率を 40%に、2050 年には 100 %サステナブルタイヤを実現することを目標としています。最新の車両が投入されるタイヤ開発の最前線にあたるモータースポーツ分野において、サステナブル原材料を使った製品開発を行うことで、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みを加速していきます。

※1 『2023 鈴鹿サーキットモータースポーツファン感謝デー』の DUNLOP サステナブルレースタイヤ走行スケジュール

日時	イベント	場所
3月4日(土) 11:10	SUPER GT GT500 プレシーズンマッチ	鈴鹿サーキット レーシングコースフルコース
3月5日(日) 16:05	SUPER GT GT500 プレシーズンマッチ	鈴鹿サーキット レーシングコースフルコース
3月5日(日) 16:45	フィナーレ	鈴鹿サーキット レーシングコースフルコース

※2 虚空をつんざいて飛ぶ矢じりを思わせる鋭い矢印の部分は未来に向って大きく発展する DUNLOP を、円の部分は大きく世界にまたがる組織をもった当社の特徴を示し、Dは DUNLOP の頭文字と前進する力強さと若さを表しています。

※3 サステナビリティ長期方針「はずむ未来チャレンジ 2050」を策定(2021 年 08 月 05 日発行リリース):

https://www.srigroup.co.jp/newsrelease/2021/sri/2021_060.html

以上

<商品・イベントに関するお問い合わせ先>

タイヤお客様相談室 [TEL:0120-39-2788](tel:0120-39-2788)